

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容を P R!!!

- サービス向上への 3 ステップ -

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。
- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

- 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職 員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームまほろば

(ユニット名) 3Fユニット

記入者(管理者)

ホーム長 日下史郎

氏 名

介護職員 清水幸枝 ・ 松本芳子

評価完了日

平成20年10月1日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			運営方針7項目を定め、それを理念として職員は常時念頭に置き実行しながら地域の中で入居者と共に日々生活を送っている。		
			(外部評価)		
			事業所では、利用者の生活を支えていけるよう理念が作られている。		さらに、貴事業所が地域の中の「地域密着型サービス事業所」として、どのようなことを目指していくのかということについても話し合われてほしい。又、事業所が目指すことについて、地域の方達にも伝えていかれてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			ホーム内の共有空間に理念を掲げている。職員は手帳大に縮小したものを携帯、常時意識しつつ業務に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			理念は、玄関や居間に掲示されている。理念の中の「利用者のペースに合わせ」を今月の目標にされていた。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			入居者が地域に住み続ける大切さの意義、理念を、認知症介護教室、運営推進会議など、また、家族には入居時、訪問時などを通じて理解を得るよう努めている。		地域に出向いて介護教室を開催したり、地域の行事に参加したりしているが、まだまだ、認知症に対する理解度が不十分である。まず、認知症の理解を得ることを重点としている

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○ 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩や買い物等、ホーム外で出会った方と立ち話をしたり、またホームに遊びに来ていただけるよう声掛している。		
5	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ホームの行事等に招待したり、また地域行事に参加したり、町内の一員として回覧板も回り交流に努めている。		定期として年2回町内のフリーマーケット参加、また、市等の大きな催しがあった時は特別参加もしている。
			(外部評価) 近所の方が回覧板を事業所まで持ってきて下さり、お話をし帰られる。回覧板は、職員と利用者で、次のお宅へ回しておられる。野菜をおすそ分けしてくださったり、外出時には、あいさつを交わしておられる。		今後、事業所では、地域の方々に事業所に来ていただけるような機会を作りたいと考えておられる。さらに、地域の方々に認知症についてやグループホームの取り組み等を知っていただき、地域との関係を深めていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
6		○ 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 市委託の介護教室、IADL訓練事業を通じて高齢者の暮らしに役立てよう努めている。		高齢者を抱えている家族からの介護等の相談を受けたり、必要としている機関の紹介をしている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価、外部評価の結果を職員全員が把握し、良いところ、悪いところを見直し、改善に向け努めている。		
			(外部評価) 自己評価は、今年の担当者を中心に他の職員に聞き取りながら作成し、ホーム長・副ホーム長がまとめられた。前回の評価結果を受けて、事業所では、看取り支援について勉強をされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議毎に実施した業務、行事の報告や外部評価の結果報告にもとづき推進会議各位委員による、助言、提案をサービス向上に活かしている。		推進会議を通じて地域の人々にグループホームへの関心と理解が高まった。
			(外部評価)		
			運営推進会議を通じて、地域の方達とともに認知症やグループホームのことについて勉強されている。夏祭りや地域の祭り等、地域行事の案内をいただき、利用者とともに参加されている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市から委託を受けている認知症介護教室、I A D L 訓練事業等、常時市と交流を計りながら情報を得たり、アドバイスを受けながらサービスの質の向上に努めている。		
			(外部評価)		
			年2回、介護相談員を受け入れておられる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			法人内で研修や、機会あるごとに管理者が話しているので職員は認識している。必要ある時は支援して行きたい。		開設以来、後見制度の適用者はいないが、必要ある人に活用できるよう、今後とも、権利擁護に関する制度を学んで行きたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待については、身体拘束を含めプリントを配布して勉強している。また、新聞、テレビ等で問題が報じられたりしたときは原因などを話し合い、防止に向け再確認している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項説明書、運営方針、法人内の病院、老健等のバックアップを充分説明し、納得していただき同意を得ている。		
13		○ 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ホーム内の色々な行事前に何をしてほしいか希望を聴き、実現に向け努めている。不満や苦情は散歩時、訪室時、夜勤の時に聴き、管理者、職員と協議して対応している。		家族には訪問時に意見、不満、苦情等を、また遠方の家族には電話、手紙等を通じて聞くようにしているが、本音が言えない面があるように思う。遠慮なく言える環境作りに努めている。
14	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 常時、家族には電話、写真、手紙、出納簿の写しを送付し状況を伝えている。 (外部評価) ご家族の来訪時には、ご本人の日々の様子を伝えておられる。又、利用者の誕生日には「誕生日新聞」を作り、ご本人の写真や職員からのコメント等を載せておられる。		ご家族に事業所のことをさらに知っていただけるよう、報告の工夫をされてはどうだろうか。例えば、運営推進会議時、話し合われたことや、事業所が特に力を入れて取り組んでいること等についても、ご家族に伝えてはどうだろうか。
15	8	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 外部、内部の苦情など、それぞれの申し立て機関を重要事項説明書に明記、それ以外に法人内の介護相談員、運営推進委員に相談できることを説明している。問題ある時はホーム全体で考え対応する体制をとっている (外部評価) 遠方にお住まいのご家族もあり、家族会はないが、事業所で行う「いもたき会」等の行事時にはご家族の参加があり、ご家族同士が同じテーブルで交流を深められた。		多くの意見が家族から出るように声掛けしたり、電話、手紙等をお願いしている。 今後さらに、ご家族と関係を深め、相談し、協力を得ながらご本人を支えていけるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)		
			職員会議、アンケート、朝礼、申し送り等を通じて意見や提案を聞き、運営に反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価)		
			入居者の体調、行事等に合わせ勤務の調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価)		
			ダメージを少なくする為に職員の移動はユニット間で最小限に行われている。退職者の代わりは法人内から経験豊富な職員の移動で対応している。		
			(外部評価)		
			事業所開設当初からの職員も多くおられる。交流のある法人内の事業所から職員が移ってくることもある。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)		
			法人内の研修等には参加の機会を作っている。資格取得の条件が整った職員に対しては取得できるよう支援している。		
			(外部評価)		
			職員は、法人内の研修に参加されている。研修内容については、毎月の職員会議時に発表し、共有されている。		現在、人間的なこともあり、外部研修を受講する機会は少な目になっているようであるが、職員が勉強する機会を増やされ、さらにケアの質向上を目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			近隣のホームの訪問、他ホームの来訪者等、その都度、意見や情報交換をしている。グループホーム連絡協議会の研修などを通じて交流を図っている。		色々な事業所に出向き情報交換し、良い点を積極的に吸収していけるよう交流を行っていきたい。(愛媛県グループホーム連絡協議会に加入している) 徐々にではあるが、他ホームとの交流の輪が増えてきている。
			(外部評価)		
			南予地区のグループホーム連絡会に参加されたり、町内のグループホーム事業所が集まり、情報交換をされている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			日帰り旅行、食事会を通じて、職員の慰労を行い、ストレス解消に努めている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の人事考課を実施している。一人一人、面接して、仕事に対する向上心を持てるよう、出来る所は評価し、努力すべき所は話し合っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居初期において、本人と関わる時期を多くして話を傾聴する中で、本人の得意分野を見出して、その事から話の輪を広げ信頼関係を築き種々の思いを言い出しやすいよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居決定前、家族と面談して家族の思いを傾聴し、ホームの方針等も説明、またホームの見学および雰囲気を見ていただいている。訪問面談は数回に及ぶ事もある。		
25		○ 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時はよく話を傾聴し、家族が納得できるような対応を心がけるよう努めている。		
26	12	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 運営方針、項目1「何事も決して急がず本人のペースに合わせ行動します」に謳っているように、本人のペースに合わせながら関わり自然にホームの生活に溶け込んで行けるよう努めている。 (外部評価) 入居前には、ご本人・ご家族に事業所を見学していただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○ 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人が出来る事を見つけ、一緒に行うようにしている。「ありがとう」の言葉を忘れず、感謝の気持ちで職員も学んでいる。 (外部評価) 職員は、利用者に「ものの大切さ」を教えていただいている。梅ジャムや干大根等の保存食の作り方を教えていただき、共に作って、年間を通して使用されている。又、利用者の手作りしたコースター等も活用されていた。		介護者の立場で無く、人生の先輩として常時敬いの心を持ちながら共に日々を過ごしていけるよう過ごして生きたい。

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 手紙で家族の方には近況報告を行ったり、訪問の際に気づいたことを報告したり、尋ねたりしている。		
29		○ 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 遠方の方には電話をしたり、訪ねていただいた家族の方には、家族だけでゆっくり、お話しができるように居室で過ごしていただいている。		
30		○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 友人、知人の訪問を制限することなくいつでも自由に来ていただいている。帰宅も数日宿泊する事も制限していない。ドライブを兼ねて故郷の訪問もしている。		安全上の為、午後8時30分から朝6時30本まで玄関に施錠しているが、申し出があれば時間外であっても訪問、面会も可能としている。面会時間も制限はしていない。
31		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 自分の時間を大切にする事は勿論、孤立しないよう調理、洗濯物たたみ、掃除など共同での作業、屋内外レクの参加を通じて関わりを多くし、連帯感が生じるよう努めている。		
32		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後も家族に様子を伺い、時には相談に応じ、入院、他の施設に入所された方には面会に行ったりして、つきあいは継続している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			本人の考えを聞く様にしている。自分の考えを表現する事が難しい方には、行動、言葉から把握し支援している。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の日々の様子等を記録し、個々の思いの把握に努めておられる。		
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家族、本人の面接、介護支援相談員からの聞き取り等で生活歴、生活環境、サービス利用状況の把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			会話、記録、バイタルチェック等から心身の状態を把握、理解し、一日の過ごし方を考えている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		6ヶ月毎に見直しをしている。見直しの1ヶ月前に、各家族に意向を聞く為の手紙を送付している。(状況に変化ある時はその都度)
			訪問時に家族の意向を聴き、県外の家族に対しては手紙等で聞いている。それらを参考にして担当者を中心にしケア会議を開きプランを作成している。		
			(外部評価)		
			ご家族に介護計画書を見ていただき、意見をうかがうようにされている。職員の気づき等を話し合い、計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うと ともに、見直し以前に対応できない変化が 生じた場合は、本人、家族、必要な関係者 と話し合い、現状に即した新たな計画を作 成している	(自己評価)		
			介護計画の見直しが必要と思われる時には、話し合い によって、その都度見直しを行い、一番良い方法を考 えている。		少しの変化もみのがさず、変化がみえた時には介護計 画の見直しを図っていく。
			(外部評価)		
			毎月のカンファレンス時、担当職員を中心に評価を 行っておられる。利用者の状態変化時には見直しをさ れている。		
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づき や工夫を個別記録に記入し、情報を共有し ながら実践や介護計画の見直しに活かして いる	(自己評価)		
			個別に毎日記録を行い、朝礼、申し送りで入居者の情 報を共有、ケアの実践を行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応 じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な 支援をしている	(自己評価)		
			法人内の老健との交流と相互支援、法人内の病院によ る健康管理、併設のデイサービスとの相互協力等多機 能性を活かせる体制を取っている。		デイサービスと合同で畑を借り作業をしている。餅つ き等の行事も合同で実施している。ホームでの生活が 困難になった入居者の転居先として法人内の老健の協 力を得ている。
			(外部評価)		
			利用者の希望をうかがい、個々のふるさとを訪問し、 懐かしい方達に会いに行かれることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ボランティアの参加、消防の火災訓練等、必要に応じ入居者も参加のもと、行っている。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 必要性に応じて他のケアマネジャーや事業者と話し合い、他のサービスを利用する事は常に念頭にある。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現状として具体的な実績はないが、問い合わせに対し情報交換程度の交流はしている。今後関係を密にしていくことで必要あるときは協働すべく努めて行きたい。		
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医とはいつでも連絡が取れる体制にある。また、歯科医などその他の必要な受診においては、本人、家族の意向に添えるようにしている。		
			(外部評価) 町内の通院介助は、職員が同行されている。通い慣れた歯科を受診されている方も支援されている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 地域に認知症専門医がなく、主治医に相談して対応している。		専門医の受診を仰ぎたいが近辺に専門医がない為、当面は法人内の医師、及び入居者の主治医と相談しながら対応していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 医療連携をしている訪問看護ステーションの看護師が定期的に(週1回)訪問して入居者の健康チェックをしている。また、状況に応じて看護師、職員と相談して対応している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時には、状況の把握の為に度々入院先に出向いて、関係者や家族との情報交換や相談に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 開設以来今まで経験はない。重度化、ターミナル期の看護師や介護職員の体験談を聞く機会を持ち何時でも対応できるよう努めていきたい。 (外部評価) 事業所では、これまでに看取りを行った経験はないが、ご家族からの希望があれば対応できるよう、看取り支援の勉強会を行っておられる。		法人内での対応方法の研修に参加したり、管理者は、心構えを話している。必要ある時は、対応できるよう全職員が共通の方針を共有できるよう取り組んでいる。 重度化や終末期のあり方等については、ご家族も不安なことでもあるので、早い段階から話し合うような機会を作っていかれてほしい。
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化や終末期の入居者に対して精神的に安定できるように、関わりの機会を多くして、穏やかに日々を過ごせる環境をつくり、また、常時主治医と連携を取りながら対応支援できるように取り組みをしている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人が他所に転居される場合において、本人に関わるケア関係者に知り得る情報を提供、相談に応じ、転居にともなうダメージ軽減の為に協力を努めている。(転居、入院当初は本人の不安が少しでも軽減されるように、頻りに面会している。)		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			自尊心やプライバシーを損なう言動に配慮しながら、会話は原則として標準語としているが、適度に温かみのある方言に対しては、可とする場合もある。個人情報に関しては十分注意している。		
			(外部評価)		
			管理者は、「利用者にいやな思いをさせないような対応」に努めておられる。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			それぞれに、分かりやすいように説明し、自分で決めていただけるような支援をしている。		現実として介護度が進むにつれ自己決定が困難になっている。入居者の言動を推察して職員で話し合い対応している。
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			入居者のペースに合わせた対応を心がけている。		
			(外部評価)		
			管理者は、利用者に「自然体で、今日を一日楽しく過ごしてもらいたい」と考えておられる。利用者の中には、毎日、近くのお地蔵さんに通い、お掃除されている方もある。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容、美容は、本人、家族の希望で家族の方がカットされたり、訪問理容を利用されたりしている。外出時には化粧をされる方もおられて、それぞれにおしゃれを楽しまれている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえや盛り付け、後片付け等、個々の出来る範囲で一緒にしていただいている。 (外部評価) 事業所の畑で収穫した野菜等を食事に使っておられる。職員は、利用者におかわりをすすめ、味付けや食事の感想を聞いておられた。下膳しようとする利用者に、ご自分で行えるよう、職員は、さりげなくサポートされていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 概ね、個々の嗜好に合わせて対応しているが、お酒に対しては、健康上の理由で行事のある時等に出している。		
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人一人の排泄パターンを把握し、体調等を考慮しながら、個々に合わせたケアをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴は原則として毎日、常時入浴したい時や入居者のタイミングに合わせて入浴できるようにしている。		菖蒲湯、ゆず湯、ハーブ湯等季節感を味わって楽しく入浴出来るようにしている。
			(外部評価)		
			一人での入浴を希望される方には、安全やプライバシーに配慮してさりげなく支援されている。入浴を嫌がられる方には、言葉がけを工夫されている。ユニットによって浴槽の大きさに違いがあり、希望により、別ユニットのお風呂を利用する方もいる。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			一人一人の生活リズムを尊重し、それぞれが安心して眠れるよう職員が情報を共有しながら支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			一人一人の趣味や特技を活かした、それぞれに合った支援をしている。		
			(外部評価)		
			ご自分で掃除機をかけ、自室の掃除をされる方がいる。週刊誌を定期購読されている方もおられる。又、調査訪問時、利用者がお茶とおやつを出してくださった。又、居間で針仕事をされている方もうかがえた。		
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			家族の希望に応じ、生活上必要なお金はホームで預かっているが、こずかいはい各自、自分で所持している。力量に応じて買い物等が出来るよう支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			ホーム周辺の散歩、買い物、ドライブ、法人内の老健訪問、地域のイベント参加等々入居者の希望を全てではないが、取り入れながらホーム外に出るべく支援に努めている。		入居が長く介護度が進んでいる入居者が多くなり、ドライブ等、長時間の外出が困難になって来ている為、ホーム近辺の散歩等の回数を多くする事で対応していきたい。
			(外部評価)		
			併設のデイサービスの車を利用して、遠出する事もある。併設の老人保健施設の喫茶コーナーに行かれることもある。		
62		○ 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			個別には故郷訪問等、春夏秋冬の風物（花見、紅葉狩り、コスモス畑等その他）見物、市内名所めぐり等を実施している。		
63		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望により、その都度、支援している。		
64		○ 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族、友人、知人等の訪問は何時でも自由であり、歓迎している。時間も制限していない。訪問時にはお茶での接待も行っている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 開設以来、身体拘束をしたことはない。職員は身体拘束に対して、研修や管理者が話しをしている為、理解している。		物理的な身体拘束はしていないが、言葉での拘束は細部で言えないとは言えない。今後は、言葉での拘束についても課題として考え学習して行きたい。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関は安全上、夜間時は施錠しているが昼間はしていない。居室においては鍵をかけることはない。(施錠時間は20:30～6:30) (外部評価) 日中、玄関に鍵を掛けていない。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 今までは、刃物等、危険物は必要時以外、直ちに収納していたが、現在は個々の力量に応じて対応している。但し夜間時は全て収納している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 入居時の事故歴等の記録で、事故の危険性を把握し、職員全員が共有して事故防止に取り組んでいる。事故が発生した時は、カンファレンスをして記録として残し、今後の参考としている。火災においては年2回の防火訓練を実施して防火に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 応急手当や、初期対応について勉強会を行っている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の防火訓練を実施している。地震の非難場所、津浪、災害時の避難場所もマニュアル化して、常時管理者により伝えられている。日頃より地域の方がたの協力を得られるよう努めている。 (外部評価) 年2回避難訓練を実施し、うち1回は、夜間想定で行われている。		次回は、消防署の方に来ていただき、階段を使って避難する訓練を予定されていた。さらに、いざという時に備え、地域と協力し合えるような体制作りもすすめていかれてほしい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入居を前提とした相談時、グループホームのあり方、生活する中で起こり得るリスク等について、家族に説明し、理解を得ている。対応策も家族、職員で話し合っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックと様子観察等で、異常ある時は直ちに今までのデータと比較して、結果状況を全職員に知らせ、対応に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は 取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全職員は薬の目的、副作用、用法、用量を理解している。服薬の支援と服薬後の状態を観察して変化がないか、確認に努めている。		
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 繊維質の多い飲食物の提供、屋内外のレクを通じての運動等、常時便秘の予防に努めている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後歯磨き（義歯も含む）の実施。自分で出来ない入居者は職員が実施している。その他、歯周病予防、口臭予防、舌苔除去等、入居者一人一人の用途に応じた、うがい薬を使用して口腔内の清潔保持に努めている。		週1回、義歯をポリデントにて消毒を実施している。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 常時、入居者の栄養のバランスを考え、食事の摂取量を観察している。水分補給については居室でもリビングでも自由に出来るようにしている。		
			(外部評価) ペットボトルに飲み物を準備して、居室でも水分摂取できるようにされていた。栄養士資格を有する職員がおられる。食事制限のある方は、ご家族と相談しながら、同じものでもカロリーの少ないものを準備する等されている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症マニュアルを作成している。ペーパータオルの使用、使い捨て手袋の使用、充分な手洗いやうがいの実施に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		○ 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) キッチン、調理器具等の衛生管理の徹底と、常時、新鮮な食材を使用する事で、食中毒の予防に努めている。		キッチンでは常時、洗剤での掃除、調理器具においては熱湯消毒、手入れと乾燥。食材において、特に青果は新鮮な物を使用、その他の食材も買い置きせず必要時に購入している。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りには四季折々の草花を植え、家族や近所の方がたが気軽に立ち寄れる、雰囲気作りに努めている。		
81	29	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節感のある飾り付けをしたり、昔から伝わる菖蒲湯、ゆず湯、季節の食材での調理等、風習を取り入れながら、季節感、生活感を感じられるよう工夫している。 (外部評価) 利用者手作りの、テーブルセンターやコースターが活用されており、共用空間には、不用品を利用し、利用者とも協力しながら作品を作り、飾られている。		
82		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下の長椅子で入居者、職員と一緒に座り、おしゃべりしたり、音楽を聴いたり、リビングには畳の間もあり、テレビを観たり、折り紙、編み物等それぞれが自由に過ごせる場所がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			居室には、整理ダンス、その他の小物、写真、絵画等本人の馴染みの物や気に入った物、職員と一緒に作った物も置いたり飾ったりして、居心地よく過ごせるよう努めている。		
			(外部評価)		
			仏壇に、御茶をお供えしている方もある。ソファに座ってテレビをみる方もおられ、傍らに辞書を置いて、わからない言葉を辞書で引き、調べておられた。手すりは、利用者の身体機能に合わせて職員が手作りされている。		
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなく、換気には努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			適度に換気は行っている。温度調節は入居者の状況に応じて行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下には絨毯を敷、手摺を設置している。入居者の身体的状況に応じて、入居者の必要な箇所に高さの違った手摺を設置、その他身体機能を活かして安全で自立した生活が送れるように工夫している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			居室が分かりにくい入居者には、表札以外に分かりやすい目印をつけたり(トイレも同じ)、食器等も本人専用の馴染みのものを使用している。その他混乱や、失敗を防止のための工夫に努めている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の周りには小さな畑もあり、四季折々の草花も植え散歩コースとしている。		季節感を实感してもらう為、小規模であるが、サツマイモ、スイカ、稲等、季節を代表するような作物を植えている。

. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	入居者一人ひとりの関わりの中で個々の意向を把握している。自分の意思が表現しにくい入居者に対しても細かく関わる中で把握している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	入居者、職員共に過ごせるティータイムを午前、午後(おやつ)に設けている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	業務(行事等)の都合で時に入居者のペースにならない場合もあるが、概ね、入居者のペースで自由に過ごされている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者の得意な事や買い物、調理等可能な限り職員と一緒にやっている。入居者に、出来た、した、との満足感、達成感が見られる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	買い物や周辺の散歩などは入居者の希望時に対応している。また、地域行事や法人内の行事の参加や花、紅葉観賞の為、郊外のドライブもしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	主治医による定期受診の実施、緊急時においても法人内の病院にて昼夜を問わず対応できる体制をとっている。訪問看護ステーションとの医療連携もとっている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者の様子を見ながら何事も強要することなく、入居者の気持ちを尊重するようにしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に意向を傾聴、市、県外在住の家族には手紙、電話などで様子を知らせ意向も聴いている。充分でない部分もあると思うが、概ね信頼は得ていると思う。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	毎日のように来られている家族もある。開設当初に比べ入居者の友人や地域の方の訪問も多くなった。

(自己評価)	
1、固定観念に捉われること無く、あるがまま自然体をモットーとした介護。 2、西予市より委託されている、認知症介護教室、IADL訓練の実施をしている。	